



式中だより

令和8年（2026年）

7月17日（金）

発行 式根島学園 式根島中学校

04992（7）0017

465号

『学び方の学び方』 副校長

毎朝、20分は自分の勉強をするようにしています。続けるのは大変です。そこで、『学び方の学び方』という本を読みました。原題はLearn Like a Pro。「勉強の仕方」の本です。先々月の「ポモドーロ・テクニック」もその一つです。くわしくは463号をお読みください。

『学び方の学び方』には、戦略的な学習者になるための科学的な工夫が書かれています。私は「できるだけ簡単に正しい選択ができるようにする」ことや「周りの人を巻き込む」ことが、有用でした。「やる気」に頼らず、戦略的にすると効果的なのはランニングと同じだと思いました。

都大会に向けて（野球部）



4月からは部員が1名となりました。個別指導が充実し、バッティングフォームを細かく改

善して技術を向上させることができました。

都大会は7月22日（火）を予定しています。練習の成果を発揮し、ヒットを打ってきます！応援をよろしくお願いします。（7/18（土）午前中に式根中学校校庭で最後の練習試合を行います。ご協力いただければ幸いです。）

都大会に向けて（サッカー部）



いよいよ都大会が7月21日（月）から始まります。離れた島同士、限られた練習時間の中でお互いを信

じ、切磋琢磨しながら絆を深めてきました。

四島連合（式根島・新島・利島・神津島）の代表としての誇りと、支えてくれた家族や地域の方々への感謝を胸に、最後までベストを尽くして戦ってきます。御声援をよろしくお願いいたします。

様々な進路のかたち

登校支援委員会

「不登校対策委員会」の支援方針が更新され「登校支援委員会」となり、毎週会議を行っています。不登校についての教員研修を、専門的な知見を持つ方々を講師とし、行いました。癒すだけではなく、導くことも必要であるということや、自立する力を身に付けていく過程を見越して、中学校段階の支援の目指すべき方向性等、様々な議論がなされました。

通信制高校も増え、特徴も多様化してきています。生徒の状態や身に付けたい能力に柔軟に対応可能な高校が増え、前向きに通信制高校を選べる時代になってきているようです。

9月の予定

1日（火）始業式	17日（木）SC来校日
3日（木）SC来校日 生徒委員会 発育測定	18日（金）SC来校日 生徒会役員選挙
4日（金）SC来校日 生徒会朝礼	21日（月）敬老の日
15日（土）PTA防災レク	22日（火）国民の休日
9日（水）小中避難訓練	23日（水）秋分の日
10日（水）全国交通安全ミニコンサート	25日（金）生徒委員会認証式 英語検定
11日（木）歯垢染色	26日（土）学校公開 未来会議中間発表 笑顔と学びのプロジェクト
12日（土）数学検定	30日（水）運動会予行
16日（水）修学旅行・キャリア教室発表	

『式中だより』は毎月25日を目途に発行していきます。

7学年キャリア教室

7 学年 担任

TGG での英語体験、都立深川高等学校の見学、やどり 創健舎、国際連合大学、ファンケル、集英社、Aflo への職場訪問を行いました。TGG では、英語でのコミュニケーションする際のリアクション、ジェスチャーの大切さを学びました。

高校見学では、生き生きとしている高校生の様子から、高校生になることへの前向きな気持ちが芽生えたようでした。

職場訪問では、事前に考えた質問以外にも質問をし、仕事や職業に関して考えを深めていました。また、4人で協力する中で、お互いの良いところや自身の課題に気付く良い機会にもなりました。今後の進路選択や学校生活の改善のきっかけにしてほしいと思います。



8 学年キャリア教室

8 学年 担任

2 日間にわたり「やどり 創健舎」での職場体験を行いました。今回の体験では、家づくりの最も重要な節目である「上棟日」という非常に貴重な瞬間に立ち会わせていただくことができました。生徒は、現場の職人さんたちとざっくばらんに会話を交わしながら、リラックスした雰囲気の中で楽しく、かつ真剣に体験活動に取り組みました。

活動を終えた生徒は「お金のために働くのではなく、喜ぶ依頼者のために働く姿にカッコよさを感じた」と述べ、働くことの本质やものづくりのやりがいに気付く素晴らしい機会となったようです。温かく受け入れてくださった事業所の皆様に心より感謝申し上げます。



9 学年修学旅行

9 学年 担任

2泊3日で奈良・京都に修学旅行に行ってきました。奈良では東大寺の大仏の大きさや奈良公園の鹿に驚いたり、京都では陶芸体験や寺社仏閣を見て回ったり、現地でしか体験できない「本物」を感じていました。

また、班行動でも協力し、自分の役割を果たそうとする姿が見られ、成長を感じる修学旅行となりました。現地で得た学びや感動を、事後学習を通して表現してほしいと思います。



波ようねりよ

中村 裕之

インドア派でものづくりが好きで怠惰な私とは対照的な、武道や球技に精通するエリートな親友がいます。互いに新しい発想や刺激を与えあえる良い仲です。先日内地に戻った際、彼は格好良い新車に乗って迎えに来てくれ、そのまま近郊の温泉に連れて行ってくれました。行きの車の中で、彼は「いま実は自動運転中なんだ」と新しい技術をたたえて言いました。自分を高めることが好きな彼がそういうことを言うのは珍しいと思い、「自動運転に慣れると、運転技術に鈍りは生じるだろうか」と質問したところ、「下手になったかどうかはわからないが、運転が疲れるようになったかもしれない」と言っていました。そのあとの温泉では、便利を追求するあまり、工夫や努力の継続、技術向上の余地が少ない時代になってきた旨の話で盛り上がりました。帰りは手動運転でした。